INTERVIEW

みんなの鳥獣対策

浪江町の地域課題「鳥獣被害」を防ぐ、軽減させるため幾世橋地区で花卉を栽培している農家さんに、ネズミによる被害状況と、その対策方法を伺いました。

■小さな食害から始まった大きな被害

5年前に花卉農家として活動を始め、初年度から茎がかじられたり、地面に開いた穴に植物が引き込まれたりする被害がありました。

近隣農家も同様の被害が発生しており、ネズミの仕業であると、判明しました。

年々、被害は拡大し、市販の殺鼠剤や粘着性ネズミ捕りを導入しましたが、効果は見られず、昨年度はカンパニュラが300本程度食害される被害に遭いました。

大切に育てた花卉を出荷できなくなってしまい、精神的に大きなダメージを受けました。

■継続的な対策で被害ゼロ

近隣農家や役場と協力し、殺鼠剤メーカーから指導を受け、殺鼠剤を継続的に散布する必要性を学びました。

日常の農作業に殺鼠剤の散布を組込むことで、労力負担を最小に効果を得られました。

作業終了後のハウス戸締り時に、巣穴と思われる箇所を中心に殺鼠剤を撒くことで、ネズミの被害が激減し、散布から1か月ほどでネズミの死骸を目にするようになりました。これまで被害の多かった12月は被害を受けること無く、無事に出荷できました。

2024年出荷までの流れ

2022

11月
- カンパニュラに食害が散見される
- 市販の殺鼠剤、ネズミ捕りを実施

2023

1月
- 効果が無く、300本程度の食害

10月
- 殺鼠剤の散布開始
- カンパニュラ定植

11月
- ネズミの死骸発見

12月
- 被害最多時期に1本も被害なし

2024

1月
- 防虫対策
- 花茎の選定

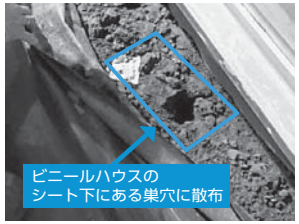
3月
- 収獲
- 出荷

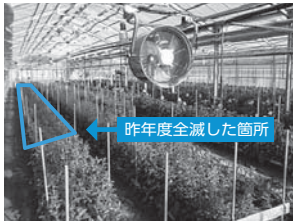
■対策者からの言葉

目に見える捕獲だけでは根本的な解決には至らないと感じています。ネズミを大量に減らすことが最善の対策であると考えています。

ネズミの被害を心配して毎朝ハウスを見回るストレスから解放されたことは、大きな収穫でした。

今後も対策を継続し、営農計画に沿った予定収入を目指していきたいです。





殺鼠剤散布の様子と花卉の生育状況

カンパニュラ
生け花で1か月ほど花が咲き続きます。道の駅でも販売しています。

別品種（同じハウス内）の畝にもネズミ穴を見つけ、殺鼠剤を散布しました。

けもの掲示板

ネズミ対策本部 みんなのアイデア ～ネズミに殺鼠剤を食べさせるための工夫～

ネズミが使っている巣穴を見分けることが大切

出入りがあり、周りになにもない穴に散布する。

周りの穴を一度すべて埋めてから、新しく空いた穴に散布する。

対策時期
- 10月～3月

殺鼠剤の散布方法
- 穴に直接入れる
- 隙間に隠す

散布のポイント
- ネズミ以外の動物に食べられないようにする

その他
- ほかの哺乳類と異なり、捕獲許可は不要

【関連情報】
みんなの鳥獣対策
広報なみえ１月号

※ほ場や作物によって、最善策は変わります。
アイデアを参考に実践してみましょう！

みんなの鳥獣対策質問フォームを作成

昨年度は町内外問わず、クマをはじめとした野生動物出没のニュースが話題となり、鳥獣対策についてより関心を寄せる1年となりました。

鳥獣被害を減らすため、「みんなの鳥獣対策」を活用してもらえるよう、質問フォームを開設しました。

鳥獣対策のわからないことや困りごとがあれば気軽にご質問ください。

いただいた質問は町内全体に知識を共有するため、けもの掲示板で紹介をする予定です。

皆さんの力で鳥獣の被害に強い町づくりを目指していきましょう。

みんなの鳥獣対策
質問フォーム

町では有害鳥獣対策に取り組む皆さんをサポートしていきます。

皆さんの鳥獣対策がありましたら、ぜひお話しをお聞かせください。

問 農林水産課農林水産係
TEL 0240(34)0246

農林水産課の有害鳥獣対策を紹介

- 防護柵の貸与（出荷を目的とした農地に限る）
- 追い払い花火の配布
- 鳥獣被害に関する勉強会

町ホームページでもご覧いただけます